

クサガメの孵化



9月3日から、**クサガメの孵化ラッシュ**が続いている。

孵化一番乗りは**6月25日**に産卵された11個の卵のうちの一つだ。孵化が近づくと、卵の殻がやわらかくなり、**しわしわのひび**が入ってくる。そして、固かった殻はぼろぼろと剥がれ落ち、ニワトリの卵殻の薄皮ようになる。やがて、卵の最も柔らかい部分に**小さな裂け目**が生じ、そこから、カメの前肢が顔を出す。**前肢**には鋭いツメが生えているのだ。しかし、前肢

が出て、それ以降はほとんど動きが止まってしまう。…途中で力尽きてしまったらどうか。



どうやら、カメの赤ちゃんは暗くなってくると活発に動くようである。丸々一日かけて、さらに裂け目が大きくなると、それまでの長い時間がウソのように、あっけなく、**もそっと**殻から這い出てくる。小さくても、ちゃんとカメの形をしている。産卵から**約70日後**の**誕生の瞬間**である。